令和８年度愛媛県原子力防災訓練概要

資料1

1　訓練の目的

伊方発電所で原子力災害が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

2　実施日時

令和８年10月13日（火）８：45 ～ 16：00
10月16日（金）８：30 ～ 15：00

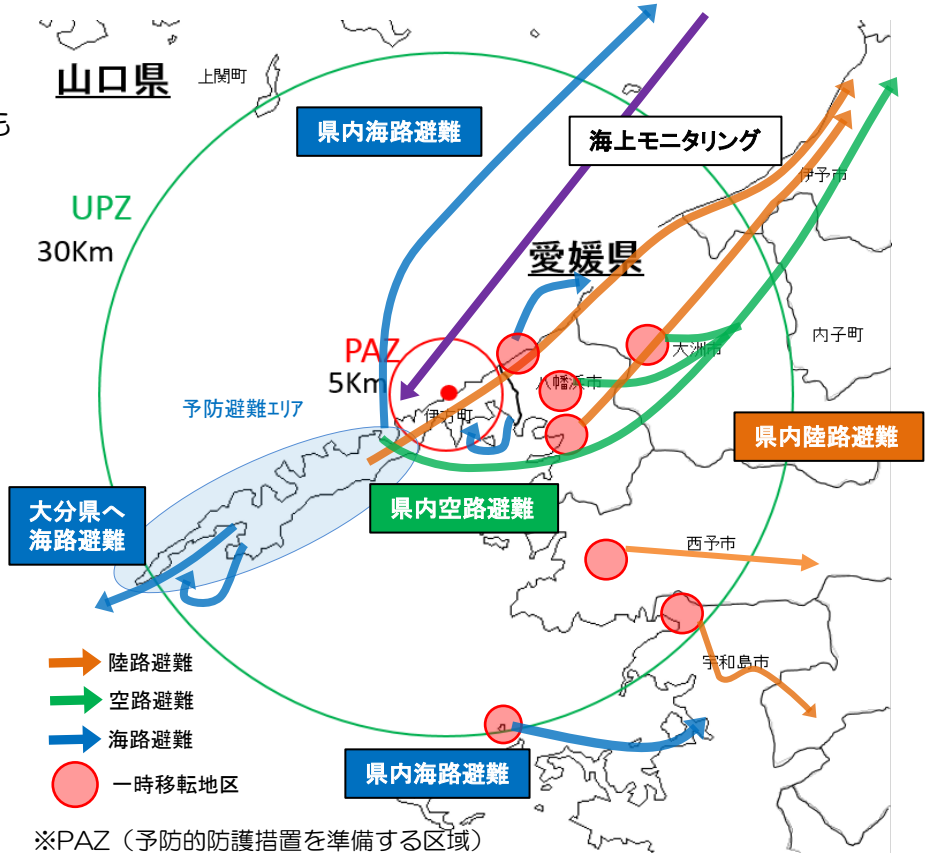
3　実施場所

愛媛県庁ほか、伊方発電所を中心としたおおむね半径30㎞以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

4　訓練項目・実施日

	10/13(火)	10/16(金)
(1)災害対策本部運営訓練	●	
(2)オフサイトセンター運営訓練	●	
(3)緊急時通信連絡訓練	●	
(4)自衛隊等災害派遣要請訓練	●	●
(5)緊急時モニタリング訓練	●	●
(6)災害広報訓練		●
(7)住民避難・誘導訓練		●
(8)要配慮者避難訓練		●
(9)屋内退避訓練		●
(10)原子力災害医療活動訓練		●
(11)交通規制訓練		●
(12)道路啓開訓練		●
(13)発電所内緊急時対応訓練	●	●

※JAXAと連携した航空運用調整に係る実証実験を10/16に実施



※PAZ（予防的防護措置を準備する区域）
※UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）
※予防避難ｴﾘｱ（PAZに準じた避難等の防護措置を準備する区域）

＜訓練想定＞

(1)地震が発生し、伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による注入不能が発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じた。

(2)伊方町全域で避難指示、UPZ市町の一部地区 で、一時移転指示が発出　された。

(3)大分県への海路避難など一部訓練については、複合災害による道路寸断等、陸路避難が困難なケースを想定。

重　点　項　目

- 住民避難の実効性向上〔10/16〕
  - ・大分海上保安部の巡視船による大分県への住民避難訓練【新規】
  - ・自衛隊海上輸送群の船舶による海路避難想定訓練【新規】
  - ・地震被害想定調査で示された孤立可能性集落からの海路避難訓練【拡充】
  - ・広域飛行ドローンで撮影した動画によるAI解析の実施【新規】
- 実践的な図上訓練による要員の対応力強化〔10/13〕
  - ・オフサイトセンター（各機能班・県現地災害対策本部）、県災害対策本部及び伊方町災害対策本部を連動させた情報収集体制の確認【拡充】

